

## <震災復興金融パネル>

### 震災時の中小企業金融

東北福祉大学 鴨池 治

#### パネルの趣旨

2011年3月11日発生の東日本大震災では、多くの中小企業が被災した。特に、沿岸部の漁業・水産加工業は、津波により、壊滅的な被害を受けた。これに対し、日本政策金融公庫の復興特別貸し付け、マル経経費（経営改善貸し付け）、セイフティネット貸し付け、商工組合中央金庫の災害復旧資金、経営環境変化対応資金等の政策金融が実施され、また、民間銀行も積極的に融資に取り組んでおり、さらに、各種の補助金が設定され（例えば、厚生労働省の休業手当に対する雇用調整補助金、被災者雇用に対する特定求職者雇用開発助成金等）、企業の復興が進みつつある。一方で、借入により行った工場や資本設備が破壊され、新たな投資を行えば発生する2重ローンの問題も存在する。本パネルでは、震災により被害を受けた中小企業の立ち直りと金融の関係をとり上げ、どのような問題があったか、どのようにすれば解決するか、等を議論していきたい。